		専門学校	開講年度	令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	プレゼンテーション英語			
	質情報	0029			T	T				
科目番号	受業形態 翻設学科 翻設期 效科書/教材 当教員 到達目標 . 英語らしの学ぶ習慣 競み手や聞き手を納 レーブリック 平価項目1 平価項目2 学科の到達目標項 ABEE基準(a) JABEE 次方方法等				科目区分	一般/選扎				
				単位の種別と単位		2				
		創成工学専攻(情報システムコース)		対象学年 週時間数	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
			 学ぶ英語プレゼンテ	=ミュコ ン / 胡口出		<u> </u> 2				
担当教員	ر,	大北 勢津		<i>уду</i> (+лцш/	(人)工/					
		12 110 2311								
1. 英語らし 2. 自分自身	しい表現パタ 身の学ぶ習慣	を充実させ	セ、自分自身で「知り	りたい」ことを探究	アできるようになる。	るようになる。				
ルーブリック										
			理想的な到達レ		標準的な到達レベ		未到達レベルの目安			
評価項目1			効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルについて十分 に理解している。		効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルについて理解 している。		効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルに関する理解が不十分である。			
評価項目2			効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルを適切に運用することができる。		効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルをおおむね運用することができる。		効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルを正しく運用することができない。			
学科の到	達目標項	目との関	係							
JABEE基準 システム創	(a) JABEE 成工学教育	基準 (f) プログラム	学習・教育目標 A-	1 システム創成工学	学教育プログラム学	習・教育目標 C-2	2			
教育方法	等									
学生自身 、自分で生 多く含まれ		学ぶ習慣をつけるこ れていることから、	ことを忘れないでほ 授業を通じて一つ	しい。このプレゼン でも多くの表現を蓄	方法を一つでも多く蓄積していってほしい。そのため ンテーション対策では、英語を学ぶ上での重要事項が 蓄積していってほしい。映画や音楽教材もプレゼンテっていきたい。					
ーション対策として利用することで、英語でのものの考え方を培っていきたい。 聴衆を意識し、その聴衆を納得させる「内容の『見せ方』」を、欧米では「大学への授業準備」として高される。残念ながら、日本では「言葉を武器」として利用する方法が系統だった教科として確立されず、体別にプレゼンテーションを行っている場合が多い。すばらしい内容を聴衆が求めている『見せ方』であらわせ、聴衆は内容を取り違えることなく、発表者の意図も間違いなく正確に伝わる。この「英語プレゼンテーション」の授業では、聴衆を意識し、発表者の意図を間違いなく正確に伝える技術、それぞれの研究をパワーポイントで発表することを目的としている。 						科として確立されず、体験的(主観的 Nる『見せ方』であらわせば、決して				
注意点	関連科目:コミュニケーション英語 学習指針:説得力のあるプレゼンテーションを通して、抜け落ちている基礎的な英語文法力や英単語力を補強していく									
学修単位	の履修上	の注意								
授業の属	性・履修	上の区分								
□ アクテ	ィブラーニ	ング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業			
+∞* ** =T: **	-									
授業計画		週	—————————————————————————————————————		- In	ヨブレの到去口煙				
			授業内容			型ごとの到達目標 受業の概要と進め				
前期	1stQ	1週	イントロダクション Unit 1: Getting Started (#1)			明する。また、Eye contact / Facial expression / Volumeに関するスキルを理解する。 Eye contact / Facial expression / Volumeに関する				
		2週	Unit 1: Getting St		スキルを理解し、実践することができる。					
		3週	Unit 2: Voice (#1	\ •	Voiceに関するスキルを理解し、実践することができる。					
		4週	Unit 2: Voice (#2	2)	\ •	Voiceに関するスキルを理解し、実践することができ 。				
		5週	Unit 3: Gestures	(#1)	G	Gesturesに関するスキルを理解し、実践することがきる。				
		6週	Unit 3: Gestures	(#2)	ā	きる。	3スキルを理解し、実践することがで 			
		7週	Unit 4: Q & A Skil	lls (#1)		<u>ීප්රං</u>	するスキルを理解し、実践することが 			
		8週	Unit 4: Q & A Skil	lls (#2)) & A Skillsに関 ^っ ごきる。	するスキルを理解し、実践することが 			
	2ndQ	9週	Unit 5: Visuals (#	[£] 1)		3.	スキルを理解し、実践することができ 			
		10週	Unit 5: Visuals (#	[£] 2)		3.	スキルを理解し、実践することができ 			
		11週	Unit 6: Rehearsal	s (#1)	-	<i></i> できる。	するスキルを理解し、実践することが			
		12週	Unit 6: Rehearsal	s (#2)		Rehearsalsに関するスキルを理解し、実践することができる。				
		13週	Unit 7: On Stage	(#1)	C	On Stageに関するスキルを理解し、実践することができる。				
		14週	Unit 7: On Stage		On Stageに関するスキルを理解し、実践することができる。					

		15週	発表(プレゼン	ンテーション)			これまでの学習内容を踏まえ、効果的なプレゼンテー ションを行うことができる。				
		16週									
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標											
分類	類 分野 学習内容		学習内容の到達目標				到達レベル	授業週			
評価割合											
	小テスト		•	発表		相互評価		課題	合計	合計	
総合評価割	<u></u> 合	30		40		10	20		100		
基礎的能力	基礎的能力 30		40		10		20	100			